日本哲学史研究

第 10 号

――トランス 西田幾多郎とT

カ H

IJ

チュラル哲学の視点か

哲学と宗教の間

――トランスカルチュラル哲学運動とその可能性…西田幾多郎の哲学

《特集·間文化

(跨文化)という視点から見た東アジアの哲学》

場所の論理と直観 西田によるへー 九鬼周造における現象学と形而上学の交わりの問 西田幾多郎 唐君毅と西谷啓治における近代性をめぐる思索… ゲ ル 『働くも 生成論批判の射程…… \mathcal{O} から見るもの ……太田 裕信……一般者の自覚的体系』 工 ベ 征 裕信…… 一郎……六五

2013年10月

第十号(二〇一三)

日

本

哲

史研

究

京都大学大学院文学研究科日本哲学史研究室紀要

STUDIES IN JAPANESE PHILOSOPHY

NIHON TETSUGAKUSHI KENKYU

Vol. 10 October, 2013

DEPARTMENT OF JAPANESE PHILOSOPHY GRADUATE SCHOOL OF LETTERS KYOTO UNIVERSITY

Kyoto, Japan

政遠……